

日本農業工学会第139回理事会議事録

日 時：平成25年1月8日（火） 16：00～17：30
場 所：東京大学農学部7号館7階会議室

出席者：大政会長、中副会長
奥島理事、大下理事、田川理事、野口理事、東城理事、岸田理事、町田理事、
石田監事、三澤監事
欠席者：村瀬副会長（委任状有り）

I. 議事録確認

第138回理事会議事録が承認された

II. 協議事項議事録

1. 平成24年度フェローの推薦について
選考委員長からフェローの推薦状況について説明があった。現在8学会から16名の推薦があり、3月15日開催のフェロー選考委員会で最終選考を行う予定との報告があった。また選考委員について4名（ ）の推薦がり、理事会で承認され、大政会長から4名が指名された。
2. 第29回シンポジウム
幹事学会の日本農作業学会東城理事からシンポジウムの趣旨、テーマ、講演者について説明があり了承された。事務局から広報用ポスターの作成など意見がだされた。
3. 30周年記念事業について
町田記念事業委員長より30周年記念事業の企画案が提示された。前回理事会から提案された記念シンポジウム、記念冊子、記念顕彰について意見交換がなされた。記念シンポジウムは災害復興関連のテーマで農業農村工学会及び農村計画学会が担当し平成26年5月に開催、またこれとは別に農業工学の新たな役割と展望（仮題）をテーマに農業農村工学会及び農村計画学会以外の8学協会が担当し、別日程で行うことが提案され了承された。また岸田理事から新農林社80周年シンポジウムとの合同開催が提案され、次回理事会までに田川理事、町田理事、岸田理事でシンポジウムの内容検討を行い理事会に企画案を提案することとなった。記念事業の行事内容については継続審議となった。
4. フェロー選考規則の改正
第138回理事会でフェロー選考規則第3条のフェロー推薦時期の9月30日は現状と異なっており、見直しの提案があった。議論の結果、現状に合わせるため、推薦時期を毎年12月20日までに変更することとし、フェロー選考規則第3条2項を改訂することとし改正案を次回理事会で審議することとなった。
5. CIGR 分担金について
野口理事よりCIGRの各国分担金などの説明があり、今後の対応について意見交換がなされた。継続審議となった。
6. その他
特になし

III. その他

次回予定（140回理事会）

平成25年3月15日（金）16：00～17：30

場所：東京大学農学部7号館7階会議室